

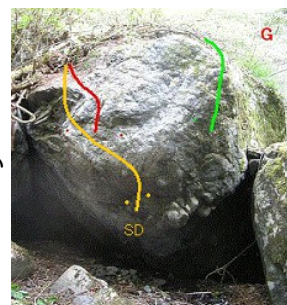


F岩とG岩は林道下の小さな岩。

F岩は下地が削られ、取り付きが川面になってしまった。

G岩は小さいがいろいろ遊べそうなので再度掃除をした。

G岩とF岩の道路側にハングした岩があり面白そうだが、下地が良くないため未トライである。



K岩は、日本登攀クラブのトポでクラックボルダー(H)とスラブボルダー(J)の間にPと表示されている2つのハイボルダー。当時はマット無しで登ったが、高さがあるのでマットを使用した方が良さそう。

川側のボルダーは2本ほど課題がある。ムーヴ的にはそれほど難しくはないが高さがあるので緊張する。

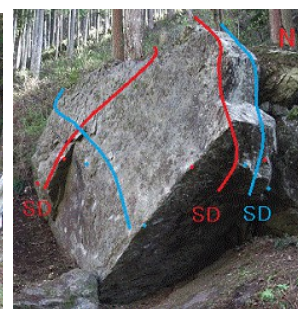
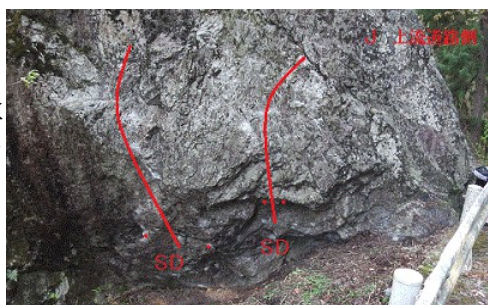
奥の道側のボルダーは、フェイスの左右は登れていたが、中央辺りが登れず未解決であった。

先日、久しぶりに行ってみると、苔が酷く、自然に戻っていたので懸垂下降をしながら掃除をした。中央ど真ん中は自分としては無理、と同時にラインとしてのホールドのつながりが悪いので、左ラインとスタートは同じで、左ラインの左のガバは使用せず右上して、スラブになるところで中央に入っていくラインをトライした。現在、肩の故障がなかなか改善しない状態だったが、何とかクリアできた。グレードは1~2Q程度に感じられた。



左:J岩(上流道路側) 右:N岩

J岩上流道路側は、昔、苔が落とされ、下が整地されていたので、既に課題ができていると思われる。今回全く登られていない状態だったので、掃除をして2本のラインを登ってみた。見た目よりホールドが遠く身長がないと2本とも難しく感じる。



N岩は、K岩をトライしに行った時に、ちょっと掃除して登ったもの。朴橋から山道に入ってすぐ左にあるボルダー。小さいが掃除をしたら意外と良いボルダーになった。